

花角英世知事に求めます

- ◆ 検証総括委員会を機能させなかった責任を自覚し、三つの検証委員会で抽出された課題の解決を徹底しておこなうこと
- ◆ 東京電力に原発を運転する資格があると県民多数が判断するまで、再稼働の議論はおこなわないこと
- ◆ 柏崎刈羽原発再稼働については県民一人一人の意思が反映されるような「信の問い方」をいまから示しておくこと

先般行われた県議会議員選挙では、柏崎刈羽原発再稼働問題が大きな争点の一つでした。新潟日報社による県議選立候補予定者への事前アンケートでは、東電による再稼働を「認めない」が7割を超えました。望ましい信の問い方については、「知事に委ねる」が最も多く、次が「県民投票」でした。県民一人一人のいのちとくらしに関わる原発再稼働という重要問題を、知事が県議会の多数で決めるようなことを決してしないよう強く求めます。「柏崎刈羽原発再稼働ノー！」の県民世論をいっそう高めていくために力を合わせていきましょう！

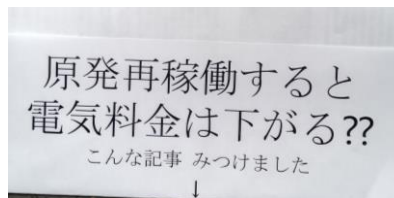


原発事故、避難できる？

どうする？長岡！

3・11で作成したプラスターが活躍！

通行する人たちに「再稼働ストップ！再生可能エネルギーへの転換！」をハンドマイクで呼びかけながら、↓のチラシを配布しました。



下に開くと龍谷大学教授大島堅一さんの文章が現れます。

戦争と原発をやめたら 電気料金は安くなります

(要旨一部抜粋)

- * ロシアのウクライナ侵攻により、世界のエネルギー市場がひっ迫。加えて円安の影響で値上げ。
- * 原発再稼働とは関係ない。むしろ、原発を再稼働しないと決めたら電気代は下がる。原発は動いていなくても年間で1兆円位費用がかかる。その費用を私たちが電気代で払っている。この12年間で一人当たり24万円ぐらい払ってきた。
- * 電気は足りている。
- * 化石燃料も原発も高い。一番安いのは再エネ。

4月アオーレ前11日行動でアピール

◎福島原発事故を契機に脱原発完了したドイツ！ ●事故当事国でありながら「最大限活用」の日本？

ドイツでは1961年に原発が初めて稼働し、30基以上あった原発大国でした。70年代後半から大規模な反原発運動が起き、86年のチェルノブイリ原発事故を経て政界にあった原発安全神話が崩壊したと言います。98年に発足した社民党・緑の党連立政権の下で21年までの原発全基段階的停止を法制化。05年発足した中道右派のメルケル政権下で原発運転期間をいったん延長しましたが、11年の福島原発事故を受けて22年までの脱原発を決定しました。4月15日、現政権下で脱原発が完了。ドイツでは同時に、電力消費に占める再生可能エネルギーの割合を、35年までにほぼ100%にすることをめざして取り組みを進めています。日本も一刻も早く原発ゼロを実現するよう声をあげていきましょう。

5月の「再稼働 NO! アオーレ前11日行動」は5月11日(木)16時～16時半です。ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第133号 2023年4月24日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707